

1 対象児童 6年 男子（A）（B）ペア学習

2 児童の実態 省略

3 指導観（A児）（B児省略）

これまでに通級指導教室では、落ち着いた環境の中で、精神的安定を図り、本来もっている能力を発揮し、自信をもつことができるように指導の改善・工夫に努めてきた。そして、何より個のニーズに応じた指導を行うため、学級担任、保護者との連携を深め、個別の指導計画を作成し、指導を行っている。

本児童については、整理整頓の苦手さ、集中して物事に取り組むことの苦手さ、不注意がみられるため、通級指導教室でそれらのことを改善できるように様々なトレーニングを3年生の頃から重ねてきた。

6年生になり、今までは宿題の量の調節を行ってきたが「今年はみんなと同じ宿題の量で頑張ってみる。」と意欲的に取り組んでいる。気持ちが穏やかで優しいため、周囲に気がつかいすぎて疲れてしまうことも多い。全体に指示を出す場合、口頭での指示は入りにくいいため、文字にして伝えるようにしている。また、自己肯定感が低く不安が強いため、まずは「称賛し、認める」指導を心がけ、安心感を与える指導を毎時間行っている。

現在、在籍学級でも通級でも安定して授業を受けられるようになり、集団生活も問題なく行うことができている。保護者は、「自分の気持ちをしっかりと伝えることができるようになってほしい。」「自分自身を受けとめ、苦手なことをすぐにあきらめずに立ち向かってほしい。」と願っている。本人自らが精神的に安定して学習に取り組み、想いを自分の言葉で伝え、少しでも豊かな人間関係を構築できる力を育てることが大切だと考えている。

SSTの分類（図1）の中から本時で獲得を目指すSSTは図1に□印で示している。

【図1】SSTの分類（本時で習得を目指すSSTに□印）

領域	スキル
学習態勢	着席する、見る、聞く、発言する、待つ、並ぶ、移動する、指示やルールを理解する、指示やルールに沿う
コミュニケーション	あいさつ、返事、お礼、謝罪、依頼などやりとり、気持ちや考えを表現する、相互性のあるやりとり、報告・連絡・相談する、上手に話し合う、会話、視線やジェスチャーなどの理解と活用
仲間関係	仲間意識、所属感、仲間にかかわる、協調的に遊ぶ、相手に注目する、他者に配慮する、友人関係の形成と維持
情緒・自己	感情の認識、感情のコントロール、情緒の安定、信頼関係の構築、自尊感情を高める、得意・不得意の自己理解、課題の自己理解
生活	身だしなみ、衛生管理、持ち物管理、整理整頓、時間・スケジュールの管理、家庭の手伝い

4 指導の経過 省略

5 指導計画

通級の個別の支援計画（令和4年度）

1 健康の保持	・通級の連絡帳等を通して、起床時間・食事の有無等の把握を通して健康の保持に努める。
2 心理的な安定	・リラクゼーションを通して心理的な安定を図る。 ・ゲーム的活動を通しての勝ち負け体験により、気持ちのコントロールの仕方を身に付ける。
3 人間関係の形成	・SSTでその場の状況に応じた適切な行動の仕方を身に付ける。
4 環境の把握	・聞き取りのドリル等を使用し、聞く力を高めるトレーニングをする。 ・視覚記憶トレーニングで、集中力を身に付ける。
5 身体の動き	・ひも通し、ペグボード、折り紙等の微細運動を行い手指の操作性を高める。 ・ストラックアウト、ボウリング、風船バレーなどの粗大運動を行い、運動に対する苦手意識を軽減させる。
6 コミュニケーション	・SSTを通して、教室でも適応できるようにする。 ・通級担当者との対話を通して、適切な会話を身に付ける。

6 本時の計画

（1）指導の目標

- ・集中して学習活動に取り組むことができる。
- ・話のポイントとなることを意識して聞き取ることができる。
- ・安定した気持ちで授業を受けることができる。

（2）展開

時間	学習活動	学習内容	指導の工夫と留意点
2分	1 始めのあいさつ	・自分で号令をかけ、相手を意識してあいさつをする。	○正しい姿勢で相手を意識してあいさつをさせる。 ○教師の姿勢を見て、自ら姿勢を整え指導者と正対できるようにする。
3分	2 予定表記入 ・見る ・聴く	・学習の予定を聞き、見通しをもつ。 ・本時の学習内容の確認をする。 ・学習カードに予定を書く。	○何をどのような順番で行うのか見通しがもてるように話をする。 ○黒板に今日やることを示し、授業の見通しがもてるようにする。 ○誤字脱字等がないか確認し、一つ一つの文字を丁寧に書くように意識させる。
5分	3 わたしのこと ・見る ・考える ・表現する	・学校生活、家庭生活で印象に残ったことについて話し、短作文を書く。 ・作文に書いた内容について相手に質問し、自分も相手からの質問に答	○「いつ」「どこで」「だれが」「なにをした」「どう思ったか」を意識して話をし、短作文にも書けるように働きかける。 ○「どう思った」のところで感情語が浮かばない場合には、表情

		える。	カードを使用し気持ちを表現させる。 ○教師の質問に相手の目を見て答えることができるように意識させる。 ○相手の話をよく聞き、お互いに質問できるように意識させる。
13 分	4 S S T (ソーシャルスキルトレーニング) 「話を意識して聞き取る」のワークシートを使い、短い話の中でポイントとなることを意識して聞き取る。	課題学習 「話を意識して聞き取る」	○短い話の中でポイントとなることを意識して聞き取ることができるようにする。 ○本人の言葉を大切にしながら必要に応じてヒントを与える。 評 「話を意識して聞き取る」ことができたか。
10 分	5 S S T (ソーシャルスキルトレーニング) 「中学校ってどんなところ？」	・小中連携対応教諭の話を聞き、中学校生活への理解を深める。	○中学校生活を安心して送ることができるように、市内の中学校の先生から「中学校とはどのようなところか。」を話してもらい、中学校生活に興味をもつことができるようにする。 評 集中して学習に取り組むことができたか。 ・中学校生活について興味をもち、分からないこと等は質問することができたか。
10 分	6 質問カード ・見る ・考える ・話す	・時間を決め、カードの質問に順番に答えていく。	○やり方やルール、時間等を確認する。 評 安定した気持ちで授業をうけることができたか。 ・質問に対する答えを、自分の考えを整理し伝えることができたか。
2 分	7 学習の振り返り	・今日の学習の振り返りをする。(連絡帳の記入) ・終わりのあいさつをする。	○学習したことを振り返り努力したことやがんばったことに気付かせ、自信をもたせる。 ○元気にあいさつをさせる。

(2) 評価

- ・集中して学習活動に取り組むことができたか。
- ・話を意識的に聞くことができたか。
- ・安定した気持ちで授業を受けることができたか。